

奈良・平安時代からつづく祈りの道...

さがみこうのまち

相模国府祭六社めぐり

相模六社めぐり

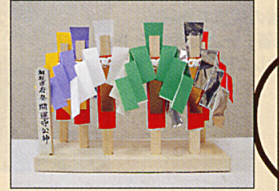
奈良・平安の時代、都から各国々に派遣された国司(現在の県知事)は、担当の国に到着するとその国の主な神様(相模国は寒川神社をはじめとする六神社)にお参りをして平和と繁栄を祈願しました。

いにしへの相模国の国司に習い、六社の神々にお参りされ、悠久の歴史と御神威を感じて頂きたく思います。

開運守公神

相模国府祭で行われる「神体面の儀」では相模国六社の神々が年に一度の対面をし、一之宮より各神社の御分霊「守公神」が総社に納められ、天下泰平・五穀豊穡が祈られます。

相模国の有力大社六神社を時の国司ながらに参拝し、各神社で授与される御幣「開運守公神」を揃えてお祈りすることにより、相模国の神々の限りないご守護とお導きが授けられ、さらなる繁栄と幸せがもたらされる事でしょう。



小田急線伊勢原駅よりバス15分
鶴巻温泉駅よりバス10分

比々多神社

JR二宮駅より神奈中バス国府津行き「押切坂上」下車10分

川勾神社

JR二宮駅より神奈中バス平塚駅行き「国府新宿」下車3分

六所神社

JR東海道線平塚駅北口よりバス6番「前鳥神社前」下車3分

前鳥神社

JR平塚駅北口より徒歩5分

平塚八幡宮

JR相模線宮山駅 下車5分

寒川神社



相模湾